

鹿児島県医師信用組合の現況

2025 MINIDISCLOSURE

《上期》

令和7年4月1日～令和7年9月30日

鹿児島県医師信用組合

〒890-0053 鹿児島市中央町8番地1

(鹿児島県医師会館・1階)

TEL (099) 251-3821

FAX (099) 252-6184

<https://www.kagoshima.med.or.jp/sinyou/index.html>

E-mail:sinyou@kagoshima.med.or.jp

目 次

中間貸借対照表	．．．．．	P 1
中間損益計算書	．．．．．	P 1
主要な経営指標の推移	．．．．．	P 1
自己資本比率について	．．．．．	P 2
金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額	．．．．．	P 3
有価証券の時価情報	．．．．．	P 3
中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取り組み状況	．．．．．	P 4
地域貢献	．．．．．	P 5

《中間貸借対照表》

第67期上期 令和7年9月30日現在

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
現金	25,068	預金積金	37,007,116
預け金	16,697,225	普通預金	12,824,673
(うち全信組連預け金)	(16,449,664)	別段預金	88,724
有価証券	14,829,212	納税準備預金	32,280
国債	1,503,180	定期預金	23,416,676
地方債	3,878,910	定期積金	644,762
社債	8,588,100	その他負債	50,127
株式	200	未払費用	27,768
投資信託	858,822	給付補填備金	387
貸出金	8,312,702	未払法人税等	10,568
手形貸付	—	前受収益	10,752
証書貸付	8,312,702	未払諸税	191
その他資産	113,664	仮受金	458
未決済為替貸	—	リース債務	—
全信組連出資金	50,000	退職給付引当金	56,075
未収収益	44,818	繰延税金負債	—
仮払金	33	債務保証	2,778
その他の資産	18,812	(うち独立行政法人福祉医療機構)	(2,778)
有形固定資産	3,113	負 債 計	37,116,097
リース資産(有形)	—	出資金	28,833
その他の有形固定資産	3,113	普通出資金	28,833
無形固定資産	668	利益剰余金	3,182,552
ソフトウエア	286	利益準備金	38,078
リース資産(無形)	—	特別積立金	3,079,624
その他の無形固定資産	381	(うち退職給与積立金)	(14,427)
繰延税金資産	116,249		
債務保証見返	2,778	当期末処分剰余金	64,849
(うち独立行政法人福祉医療機構)	(2,778)	組合員勘定合計	3,211,385
貸倒引当金	△ 24,917	その他有価証券評価差額金	△ 251,719
(うち個別貸倒引当金)	(-)	純 資 産 計	2,959,666
資 産 合 計	40,075,763	負 債 及 び 純 資 産 合 計	40,075,763

(注)記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

その関係で合計と内訳を加算した金額とは必ずしも一致しません。

(以下の各表における記載金額についても同様です。)

《主要な経営指標の推移》

(単位:千円)

区 分	令和6年9月末	令和7年9月末
経常収益	163,765	183,182
経常利益	16,839	49,561
当期純利益	12,352	36,481
業務純益	28,996	48,334
コア業務純益	28,996	48,334
預金積金残高	41,263,790	37,007,116
貸出金残高	9,044,277	8,312,702
有価証券残高	15,238,810	14,829,212
総資産額	44,397,964	40,075,763
純資産額	3,050,259	2,959,666
自己資本比率(単体)	16.40%	18.87%
出資総額	29,215	28,833
出資総口数	29,215口	28,833口
職員数	10人	10人

(注)残高計数は期末日現在のものです。

《中間損益計算書》

(単位:千円)

科 目	金 額
経常収益	183,182
資金運用収益	179,394
貸出金利息	62,567
預け金利息	40,873
有価証券利息配当金	74,748
その他の受入利息	1,205
役務取引等収益	2,422
受入為替手数料	109
その他の役務収益	2,312
その他業務収益	137
国債等債券売却益	—
雑益	137
その他経常収益	1,227
経常費用	133,621
資金調達費用	37,346
預金利息	37,156
給付補填備金繰入額	190
役務取引等費用	13,473
支払為替手数料	379
その他の役務費用	1,353
その他の役務取引等費用	11,740
その他業務費用	—
国債等債券償還損	—
その他の業務費用	—
経費	82,800
人件費	49,527
物件費	33,100
税金	172
その他経常費用	—
貸倒引当金繰入額	—
その他の経常費用	—
経常利益	49,561
特別利益	—
その他の特別利益	—
特別損失	0
固定資産処分損	0
その他の特別損失	—
税引前当期純利益	49,561
法人税、住民税及び事業税	13,274
法人税等調整額	△ 195
法人税等合計	13,079
当期純利益	36,481
繰越金(当期首残高)	28,368
役員退職積立金取崩額	—
当期末処分剰余金	64,849

(注)出資1口当たりの当期純利益1,265円28銭

«自己資本比率について»

(単位:千円、%)

項目	令和6年9月末	令和7年9月末
コア資本に係る基礎項目 (1)		
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る組合員勘定又は会員勘定の額	3,152,837	3,211,385
うち、出資金及び資本剰余金の額	29,215	28,833
うち、利益剰余金の額	3,123,622	3,182,552
うち、外部流出予定額 (△)	-	-
うち、上記以外に該当するものの額	-	-
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	27,110	24,917
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	27,110	24,917
うち、適格引当金コア資本算入額	-	-
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45%に相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	3,179,948	3,236,303
コア資本に係る調整項目 (2)		
無形固定資産 (モーゲージ・サービシング・ライツに係るもの) の額の合計額	1,980	479
うち、のれんに係るもの額	-	-
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	1,980	479
繰延税金資産 (一時差異に係るもの) の額	-	-
適格引当金不足額	-	-
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	-	-
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	-	-
前払年金費用の額	-	-
自己保有普通出資等 (純資産の部に計上されるものを除く。) の額	-	-
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	-	-
少数出資金融機関等の対象普通出資等の額	-	-
信用協同組合連合会の対象普通出資等の額	-	-
特定項目に係る10%基準超過額	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-
うち、繰延税金資産 (一時差異に係るものに限る。) に関連するものの額	-	-
特定項目に係る15%基準超過額	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-
うち、繰延税金資産 (一時差異に係るものに限る。) に関連するものの額	-	-
コア資本に係る調整項目の額 (口)	1,980	479
自己資本		
自己資本の額 ((イ) - (口)) (ハ)	3,177,968	3,235,823
リスク・アセット等 (3)		
信用リスク・アセットの額の合計額	18,946,088	16,717,126
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	400,000	-
うち、他の金融機関等向けエクスポートージャー	400,000	-
うち、上記以外に該当するものの額	-	-
資産 (オン・バランス項目)	-	16,715,043
うち、他の金融機関等の対象資本調達手段に係るエクスポートージャーに係る経過措置 (自己資本比率改正告示附則第12条第8項) を用いて算出したリスク・アセットの額から経過措置を用いて算出したリスク・アセットの額を控除した額	-	△600,000
オフ・バランス取引等項目	-	2,083
CVAリスク相当額を8%で除して得た額	-	-
中央清算機関連エクスポートージャーに係る信用リスク・アセットの額	-	-
マーケット・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	-	-
勘定間の振替分	-	-
オペレーションル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	430,890	430,416
信用リスク・アセット調整額	-	-
資本フロア調整額	-	-
オペレーションル・リスク相当額調整額	-	-
リスク・アセット等の額の合計額 (二)	19,376,979	17,147,543
自己資本比率		
自己資本比率 ((ハ) / (二))	16.40%	18.87%

《金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額》

(単位：百万円・%)

区分	令和6年9月末	令和7年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	11	9
危険債権	-	-
要管理債権	-	-
不良債権計 (A)	11	9
正常債権	9,036	8,305
合計 (E)	9,048	8,315
担保・保証等 (B)	11	9
貸倒引当金 (C)	-	-
保全額合計 (D) = (B) + (C)	11	9
担保・保証等、引当金による保全率 (D) / (A)	100.00	100.00
貸倒引当金引当率 (C) / (A - B)	-	-
不良債権比率 (A) / (E)	0.12	0.11

- (注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
3. 「要管理債権」とは、「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。
4. 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に問題がない債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権です。
5. 「担保・保証等 (B)」は、「不良債権計(A)」における自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
6. 「貸倒引当金 (C)」は、「正常債権」に対する一般貸倒引当金を控除した貸倒引当金です。

《有価証券の時価情報》

令和7年9月末

満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額	時価	評価差額
地方債	2,000	1,899	△ 100
社債	2,700	2,641	△ 59
合計	4,700	4,540	△ 159

その他有価証券で時価のあるもの

	貸借対照表計上額	取得原価	評価差額
国債	1,503	1,599	△ 96
地方債	1,878	2,000	△ 121
社債	5,888	6,100	△ 212
投資信託	858	779	79
合計	10,129	10,479	△ 350

(注) 時価のない有価証券の貸借対照表計上額は、非上場株式の200千円です。

«中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取り組み状況»

中小企業の経営支援に関する取組方針

当組合は、組合員の繁栄に寄与するため以下の方針に基づき、経営支援に全力で取り組んでまいります。

1. 基本方針

当組合は鹿児島県内の医師会員により成り立っております。

組合員の発展に寄与する事が最大の使命との経営理念を基に、組合員の経営に関する課題や開業等の相談に対して、迅速かつ誠実に対応し健全経営に向けて指導助言を行うことは、医師会員ひいては地域の方々・地域経済の発展に寄与貢献するものであり、我々の重要な役割であると考えております。

2. 経営支援に向けた具体的な方針・態勢整備

- (1)組合員からの相談等に対し、迅速かつ誠実に経営内容の把握や医師としての経験や資産状況等について丁寧な聞き取りを行い、今後の事業展開や経営改善に向けた問題点や課題を掲げ、経営改善に向けて適切な経営指導を行うとともに、組合員の積極的取り組みに対しても、支援を行っております。
- (2)日頃から渉外担当者による都市医師会・個別訪問活動により、多くのお客様の要望・相談の聞き取りを行っております。
貸付条件変更等の申込・相談があった場合には、迅速に役席会や常務理事会へ報告・検討を行い、組合員の経営改善に向けて積極的に取り組んでおります。
- (3)住宅購入資金等のニーズに応えるために、日頃より大手住宅メーカー等からの情報収集に努め、融資推進により医師会員の医業経営および地域医療の基盤充実に尽力しております。
また、新規開業相談等の場合は、申出内容を吟味のうえ、適切なアドバイスや指導を行いながら、規模に応じて地元金融機関との協調を行うなど、適切な資金支援を行っております。
- (4)専門的な経営課題等については、外部機関等の第三者的な視点や専門的な知見・意見等が必要であり、外部機関と業務委託契約を結び、コンサルティング機能を高めるよう努めております。
- (5)さまざまな資金ニーズに対応するために、幅広い商品から選択できるように、組合員のライフスタイルや事業ニーズに合わせた商品開発を行っております。

3. 経営支援体制

融資担当者が「経営相談・支援担当者」となり、組合内で役席会での検討を行い、経営支援責任者(常勤常務)が取りまとめ、常務理事会へ諮るなど、迅速かつ適切に組合員からの幅広い相談に対応しております。

4. 地域の活性化に関する取り組み状況

医師系の金融機関としての強みを活かし、組合員の更なる利便性の追求とニーズに迅速に対応できる態勢作りを行い、設備資金や運転資金、また、福利厚生資金等、医業経営の安定・向上を目的とした融資の推進を行い、金融仲介機能を発揮するよう取り組んでおります。

◎地域密着型金融の取り組みにかかる主要計数の開示

・経営改善支援等の取り組み状況

(単位:%)

期初債務者数(A)	うち経営改善支援取組先(α)			経営改善支援取組み率(α/A)	ランクアップ率(β/α)	再生計画策定期率(δ/α)
	α のうち期末に債務者区分がランクアップした先数(β)	α のうち期末に債務者区分が変化しなかった先数(γ)	α のうち再生計画を策定した先数(δ)			
145	5	0	5	3.45	0.00	100.00

«地域貢献»

【地域に貢献する当組合の経営姿勢】

- ① 医師会活動に協力することにより、医師会員および地域の方々への貢献に努めます。
- ② 融資推進により、医師会員の医業経営および地域医療の充実に寄与します。

【文化的・社会的貢献に関する活動】

鹿児島県医師会が主催する「救急医療週間行事」に協力しています。

【預金を通じた地域貢献】

- ① 協力預金（普通預金・決済用預金）

開業の先生方や医療法人をはじめ、医師会関係等にご協力いただき、令和7年9月末128億円の残高となりました。

- ② 医業経営対策積立金

勤務の先生方をはじめ組合員全員にご協力いただき、60億円の残高となりました。

以上、①と②の協力預金等の合計額188億円のうち、44%にあたる約83億円が先生方へのご融資金として活用され、地域医療に貢献しています。

【融資を通じた地域貢献】

令和7年度上期 新規の融資実行額

(単位:百万円)

融資商品	件数	実行金額
一般融資	35	192
不動産担保付融資	1	6
季節特別融資	2	4
留学資金ローン	1	10
学資ローン	1	2
フリーローン	13	44
保証融資	5	15
合計	58	273